



ふれあい交流事業助成要綱

（目 的）

第 1 条 この事業は、赤い羽根共同募金を活用し、地域の高齢者・障がい者・子どもなど、鈴鹿市全体の地域住民を対象として行われる活動に対して助成を行う。また、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう世代間の交流をすすめ、たすけあい・支えあいの輪を広め、誰もが住みよいまちづくりが行われることを目的とする。

（助成対象団体の条件）

第 2 条 助成対象団体は、次の各号に掲げるすべての条件を備えていなければならない。

- （１）鈴鹿市内において、自主的に活動を行う任意の団体。
- （２）継続的かつ計画的に活動を行う団体。
- （３）鈴鹿市内全体の広域で活動をしている団体。
- （４）営利または特定の政党・政治団体に関する活動もしくは宗教活動を目的としない団体。
- （５）他の補助金または助成金の交付を受けていない団体。
- （６）特定の個人や会員のみにより利益が生じない団体。
- （７）その他、鈴鹿市社会福祉協議会会長（以下、会長）が必要と認めた団体。

（助成の対象となる活動）

第 3 条 助成の対象となる活動は次に掲げる要件を満たすものとする。

- （１）年 1 回以上の開催が見込まれていること。
- （２）自主運営および活動の継続性を図るため、利用者から実費程度の会費または参加費を徴収すること。
- （３）運営者等のみを対象とする勉強会等ではなく、誰もが参加できる活動内容であること。また、それを地域に広報すること。
- （４）趣味活動やサークル活動に特化した内容でないこと。
- （５）その他、会長が必要と認めた活動。

（助成金額）

第 4 条 対象事業の内容や規模等を勘案しながら、予算の範囲内において、審査委員会で決定する。なお、助成額は年間 6 回以上の開催が見込まれる場合は、4.5 万円、5 回以下の開催の場合は、3.5 万円を限度とする。

(新規団体への助成について)

第5条 新規団体への助成については、申請年度の4月1日時点で、1年以上の活動実績を必要とする。

(対象経費)

第6条 活動にあたっては、原則として参加費等の自己負担によるものとし、不足分として当助成金を活用するものであり、次の各号掲げる経費に対し助成を行うものとする。

- (1) 行事・会議時の会場使用料
- (2) 消耗品・材料費
- (3) ボランティア活動保険・イベント（行事用）保険
- (4) 外部講師等への謝礼金
- (5) 旅費・交通費
- (6) 印刷製本費・通信運搬費

(申 請)

第7条 助成を希望するものは、助成金申請書（様式 1-1）、申請団体・活動内容報告書（様式 1-2）、サロン計画書（様式 1-3）、サロン事業収支予算書（様式 1-4）、助成金交付請求書（様式 1-5）に必要事項を記載し、次項に定める期日までに鈴鹿市社会福祉協議会（以下、社協）へ提出する。

(申請期日)

第8条 毎年5月1日から5月31日までとし、この期間内に申請を行う。

(助成決定)

第9条 助成の決定は、申請された書類をもって、審査委員会で審査の上、会長が決定し、社協を通じて通知する。

(実績報告)

第10条 助成を受けた者は、翌年の4月30日までにふれあいサロン事業実施報告書（様式 2-1）、サロン事業活動内容報告書（様式 2-2）、サロン事業活動記録（様式 2-3）に領収書等の必要書類を添付し、社協へ提出する。

(助成金の返還)

第11条 助成を受けた団体のうち、次の各号のいずれかに該当するときは、助成金の 一部または全部を返還しなければならない。

- (1) 虚偽の申請が判明したとき。
- (2) 本要綱第3条の要件を満たさなかったとき。
- (3) 助成金を目的外に使用したとき。
- (4) 事業完了後、余剰金が生じたとき。ただし、活動を継続して行う場合は、返還ではなく、次

年度の助成金申請額を減額する。

(5) その他、本要綱の規定に違反したとき。

(社会福祉センターの利用について)

第12条 助成を受けた団体については、以下の借用については無償で利用できるものとする。

- (1) 社会福祉センターの利用（貸館）
- (2) 福祉バスの利用（年間1回までの利用とする）
- (3) 貸し出し機材の利用

(モデル地区・事業の設定)

第13条 モデル地区・事業を設定し、当事業助成を推進することができる。

附 則

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

〔様式 1 - 1〕

令和 年 月 日

社会福祉法人

鈴鹿市社会福祉協議会会長 様

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

令和 年度 赤い羽根共同募金助成事業申請書

令和 年度共同募金（令和 年度に充当）の配分金助成につきまして、別紙事業計画書および必要書類を添えて、下記のとおり申請いたします。

記

1. 配分対象事業（該当項目に○をつけてください）

- ・ ふれあい子育てサロン事業
- ・ 子育て当事者サロン事業
- ・ ふれあい交流事業

2. 配分申請額

円

〔様式 1 - 2〕

申請団体・活動内容報告書

令和 年 月 日

サロンの名称			申 請	新規 ・ 継続
活動グループの名称			活動年数	年 月
サロン立ち上げの きっかけ (新規サロン・まだ記入した ことのないサロンのみ)				
サロン活動の効果				
活動場所 (活動拠点)	場 所	(会場名) (住 所) (地区名)		
代表者の連絡先	氏 名		電 話	
	住 所	〒		
サロン参加対象者	活動の運営者 ・協力者	ボランティア ・ 民生委員 ・ 自治会関係者 ・ その他 ()		
	主な対象者 (支援の対象)	高齢者 ・ 知的障がい者 ・ 精神障がい者 ・ 身体障がい者 ・ 児童 ・ 乳幼児 ・ その他 ()		
サロン開催の周知方法 (対象者の募り方)				
サロンのホームページ の有無	無 ・ 有 (ホームページアドレス :)			
サロンへの参加・見学 にあたっての手順	事前連絡 (予約)	必要 ・ 不必要	参加・見学 の手順	
	参加・見学 の連絡先等	氏 名 連絡先		
	参加費	無 ・ 有		
		参加費が 必要な場合	毎回 ・ 行事 () により ・ 他 ()	
			固定 () 円 ・ 行事等変動 (約) 円	
サロン活動の PR (市民に対しての P R やサロンの特徴等)				

〔様式 1 - 3〕

サロン計画書

活 動 日		毎月第 曜日 , 時 分 ~ 時 分 まで			
1 回あたりの参加人数		対象者数	およそ 人	サロン運営者 ボランティア	およそ 人
活 動 内 容 及 び ス ケ ジ ュ ー ル					
4月	日				
5月	日				
6月	日				
7月	日				
8月	日				
9月	日				
10月	日				
11月	日				
12月	日				
1月	日				
2月	日				
3月	日				

当助成制度は赤い羽根共同募金により実施しておりますことを、貴サロン団体の参加者のみなさまにご周知
いただきますよう、よろしくお願いいたします。

〔様式 1 - 4〕

サロン事業収支予算書

収入の部		支出の部	
区 分（ 内容 ）	金 額	区 分（ 内容 ）	金 額
当該助成金	円		円
参 加 費	円		円
他（ ）	円		円
	円		円
	円		円
	円		円
	円		円
	円		円
	円		円
	円		円
	円		円
合 計	円	合 計	円

支出の内訳（どのように活用されているか等）

--

* 当助成制度は赤い羽根共同募金により実施しております。そのため、寄付者である地域のみなさんにご周知させていただくとともに、地域の福祉活動であるサロン活動のPRとして、今後、当社協のHP等で広報させていただく可能性がございます。そのことについてご理解の上、ご申請いただきますようお願いいたします。

令和 年 月 日

助成金配分交付請求書

金 円也

但し、令和 年度「赤い羽根共同募金助成金配分」（令和 年度に充当）として上記金額を請求いたします。

社会福祉法人 鈴鹿市社会福祉協議会
会 長 亀 井 秀 樹 様

住 所 鈴鹿市

団 体 名

代表者名 印

（振込先）申請団体の振込先口座を記入して下さい。

銀行		支店
農協		
普通 ・ 当座	口座番号	
口座名 (フリガナ)		

※ 必ず通帳のコピー(見開き)を添付して下さい。

令和 年度サロン事業実施報告書

ふれあい交流事業を終了しましたので関係書類を添えて報告いたします。

収支決算書

収入の部		支出の部	
区 分	金 額	区 分	金 額
当該助成金	円		円
参加費等	円		円
他 ()	円		円
	円		円
	円		円
	円		円
	円		円
	円		円
	円		円
合 計	円	合 計	円

※繰越金が発生した場合は、社会福祉協議会へご連絡をお願いします

事業完了日 令和 年 月 日

添付書類

- ・ サロン事業活動内容報告書（様式 2 - 2）
- ・ サロン事業活動記録（様式 2 - 3）
- ・ 収支状況のわかる書類（出納帳・帳簿等）
- ・ 領収書やボランティア行事用保険加入依頼書の写し
- ・ 資料やチラシ等活動の様子のわかるもの

社会福祉法人 鈴鹿市社会福祉協議会

会 長 亀 井 秀 樹 様

上記のとおり事業を実施しましたので、関係書類を添えて報告いたします。

令和 年 月 日

団体名

代表者

サロン事業活動内容報告書

サロン名

日	行 事 名	内 容	参加者（人数）	
／			運営者	人
			対象者	人
			ボランティア	人
／			運営者	人
			対象者	人
			ボランティア	人
／			運営者	人
			対象者	人
			ボランティア	人
／			運営者	人
			対象者	人
			ボランティア	人
／			運営者	人
			対象者	人
			ボランティア	人
／			運営者	人
			対象者	人
			ボランティア	人
／			運営者	人
			対象者	人
			ボランティア	人
／			運営者	人
			対象者	人
			ボランティア	人

* 対象者には、運営者を除いた人数でご報告ください。書ききれない場合は、コピーしてご提出下さい。

サロン事業活動記録

記録者

活動日	令和 年 月 日 ()、 時 分 ～ 時 分
活動場所	
参加者数	(対象者) 男 名・女 名 (内、付添 名) 合計 名
	(活動運営協力者) 名・(ボランティア) 名 合計 名
活動内容 (一日の流れ)	
活動経費	
今回の活動の効果 (参加者の声・受けた相談)	
今後の課題	

* 主な活動を1つご報告をお願いします。

* 写真等、活動内容がわかる書類を必ず添付いただきますようよろしくお願いいたします。